

香川県ナースセンター ニュース

第53号

平成26年10月20日

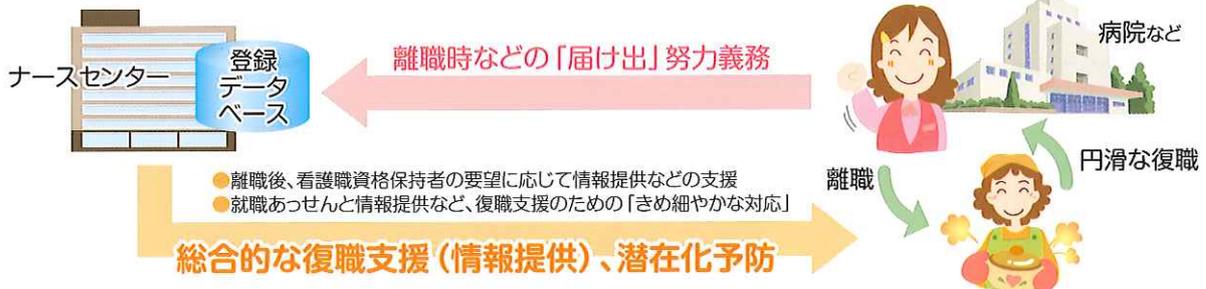
公益社団法人 香川県看護協会
香川県ナースセンター
発行責任者/中村 明美
TEL.087(864)9075
FAX.087(864)9071

ナースセンターへの届け出が制度化に 届け出の努力義務化で、再就業を後押し

医療介護総合確保推進法により「看護師等の人材確保の促進に関する法律（人確法）」の改正があり、離職時におけるナースセンターへの届け出が努力義務となりました。看護職確保のため、ナースセンターの強化を中心とした取り組みを行っていきます。

これまで、看護の仕事から離れると、必要な情報を受け取る方法がなくなり、もう一度看護職を目指したいと思っても、適切に情報を得ることが難しい状況でした。今回の届け出制度を活用することで、離職後もナースセンターと一定の“つながり”を確保することができ、メールによる情報提供などによって、復職に向けたきめ細かなサービスが受けやすくなります。

届け出制度は、2015年10月に創設され、スマートフォンやパソコンのナースセンターのサイトを通じて、情報をナースセンターに送信できる仕組みが整備されます。ナースセンターで登録することもできます。



就業支援コーディネーターの方々を紹介します

香川県看護協会（香川県ナースセンター）から、看護職ならではの無料職業紹介事業を積極的に推進するために、平成26年4月から就業支援コーディネーターに委嘱された辻まち子さん、福岡章子さんの活動状況をお伺いしました。

事務局: コーディネーターの役割を教えてください。

辻さん: 就業支援にはじまり、仕事の悩み事相談まで、看護職に就いている方から、これから再就業の検討をしている方まで幅広くサポートを展開しています。

事務局: 具体的にどのような活動をされていますか。

福岡さん: 求人・求職者への就業斡旋、施設見学の同伴、希望があれば面接に同伴、就業後の就職者・管理者と面談、ハローワーク（高松・丸亀・観音寺）における月1～2回のサテライト相談、看護力再開発講習会受講者の就業支援などです。

事務局: 就業支援に関わっての感想やご意見をお聞かせください。

辻さん: 相談窓口では、退職した経緯、仕事から離れていたが働きたい、介護や子育てしながら働きたいなど、一人ひとりの情報を正確に把握することに努めています。そして、求職登録をしていただき、求人票により個人に合った、また、希望している職場環境等を確認し、看護職の就業支援をしています。相談内容や個人情報の守秘義務は厳守していますので、安心してご相談ください。



辻
まち子さん



福岡
章子さん

福岡さん: 多様な場における看護活動に参加でき、様々な年代の看護職の方との関わりは、私にとって新たな体験の日々です。無料のナースセンター職業紹介事業とよく似た名称の人材紹介会社も多くあり、利用されている方もいます。ナースセンターを有効に活用できるように、看護職同士の的確な情報交換も必要と考えています。看護職の求人倍率2.91という募集状況を捉え、行政、医療・福祉機関からの期待に少しでも応えられるよう微力ながら充足を目指して活動したいと考えています。

ナース
センター
利用状況
(平成26年10月1日)

	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
有効求人数	6	20	305	30	361
有効就職者数	21	2	115	33	171



看護職確保定着のための取り組み シリーズNO. 14

さぬき市民病院

2012年1月に新設されたさぬき市民病院は、さぬき市の中心に位置し、のどかな田園に囲まれた閑静なところにありました。地域二次医療拠点病院として地域に根付いた医療、看護を提供され、中でも訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーションを地域医療連携室内に設置し、看護師、コメディカルスタッフが情報を共有するなど、退院後の在宅療養の支援が強化されていました。看護師の入職理由には「訪問看護に携わりたい」とする人も少なくないとのことでした。

またチーム医療も実践され、部署別研修として薬剤師、放射線技師などコメディカルの方が定期的に各部署で出前講義をされているということでした。看護師は、自分の勤務に合わせた希望の講義を他病棟でも受講でき、個人々のスキルアップを図るシステムが構築されていました。また、病棟クラーク、アウトソーシングなどのスタッフが常駐しており看護に専念できるように職場環境が整えられていました。

福利厚生では、院内に病児・病後児保育室「コスモス」が併設され、小児科医の診察を優先的に受けられるなど、安心して仕事ができるよう配慮されていました。

齋藤看護部長は常に笑顔を決やさず、病院の案内中にも立ち止っては医療スタッフや患者、家族に声をかけられ、病院にいるすべての人を大切にしていると感じました。「市民のこころとからだの健康を支え、住みよいまちづくりに積極的に貢献する」という理念のもと、看護部長を中心としてチームで日々の看護に向き合っている印象を受けました。



病院外観



看護部長と副看護部長



地域医療連携室の様子

- 病床数:179床
- 入院基本料:7対1
- 看護職員数:看護師157名
准看護師1名
- 平均年齢:39.7歳
- 離職率:4.8%



病児・病後児保育室(コスモス)

三豊市立永康病院

永康病院は、昭和24年に国民健康保険町村組合病院として「とこしえにやすらかなれ」との願いを込めて開設されました。その後、平成18年町合併により三豊市立永康病院と改称され現在に至っています。荘内半島の入口に位置し、詫間町を見渡せる緑に囲まれた高台にあり、地域に密着した病院として住民の健康・福祉に貢献しています。

昨年度より、看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップに参加され、病院全体で看護師定着に向けて積極的に取り組まれています。その一つとして看護職員が利用できる様々な制度を一冊の冊子にわかりやすく且つ活用しやすくまとめられていました。特別休暇として、妊婦健診・つわり休暇・生理休暇などが取得でき、「産前休暇8週」「育児休暇3年」などの制度が充実しています。今年度ついに育児休暇を取得した男性看護師が誕生したそうです。しかし、制度取得にばらつきがあり、細川総看護師長を中心に個人面接により全体の調整に努力しているとのことでした。

教育面では、新採用者が様々な看護技術を体験できるよう部署を超えた取り組みをされており、メンタルサポートでは個別相談しやすい環境づくりをおこなっているそうです。また、未来の看護師育成に向けて「ふれあい看護体験」では、中学生を中心に案内し今年26名の参加者があり、大いに盛り上がりました。

さらに、全職員からマスコットキャラクターを募集し、特産の「三豊ナス」をイメージした「えいこうナス」が誕生しました。この「えいこうナス」とともに様々な情報を地域に発信しながら「働きやすい職場環境づくり」を提案していくスタッフの皆さんに、とても明るい未来が感じられました。



病院外観



永康病院のシンボルマークです。

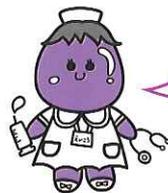


新人教育実習生指導マニュアル検討委員会委員



師長会

- 病床数:199床
- 入院基本料:一般病床(15対1)
療養病床(20対1)
精神病床(15対1)
- 看護職員数:86名
- 平均年齢:44.3歳
- 離職率:3.6%



はじめまして
えいこうナスです。
皆様が健康で笑顔で過ごせるよう
私もスタッフと頑張ります。

職員から募集したキャラクターです。
市民の皆さんに親しみを持ってもらえるよう、
病院からも情報発信したいと思っています。

平成26年度 看護職員確保状況調査結果

ねらい:香川県内病院における看護職員の離職状況等を把握し、確保定着や就業の促進を図る。

1 平成25年度の常勤看護職員の離職状況 n=81

①離職率の推移

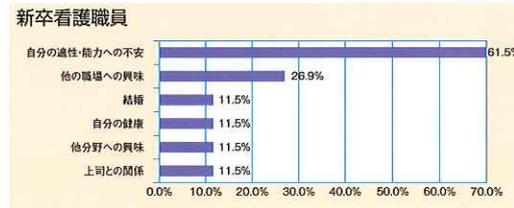
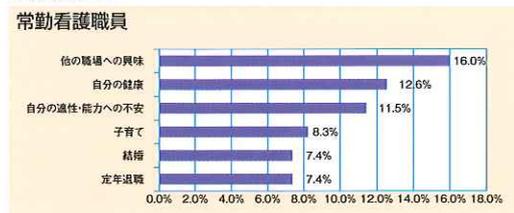
調査主体	項目	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
日本看護協会	常勤	11.0	10.9	11.0	—
	新卒	8.1	7.5	7.9	—
香川県看護協会	常勤	7.7	8.1	8.1	9.3
	新卒	7.5	7.8	8.3	9.0



②常勤看護職員の離職率推移

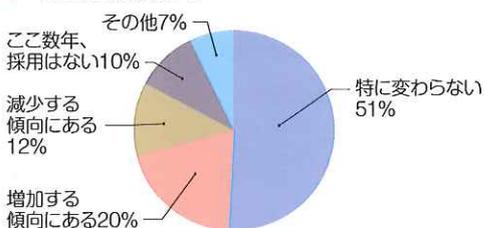


③離職理由



2 管理者から見た新卒・既卒看護職員の入職後の早期離職について n=81

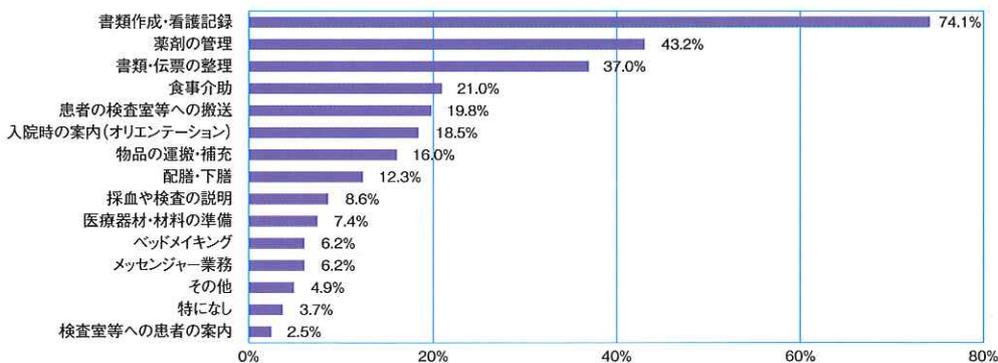
▶早期離職の傾向



▶新卒・既卒看護職員の職場定着を困難にしている要因 (複数回答)

項目	回答数	割合 (%)
看護基礎教育修了時点または入職時の能力と看護現場で求められる能力とのギャップが大きい	37	45.7%
新規採用者の精神的な未熟さや弱さ	31	38.3%
従来よりも高い能力が求められるようになってきている	23	28.4%
現場の看護職員が新規採用者に仕事のなかで教える時間が減少してきている	21	25.9%
新規採用者を計画的に育成する体制が整っていない	16	19.8%
個々の看護職を「認める」「ほめる」ことが少ない職場風土	12	14.8%
新規採用者が「自分が医療事故を起こすのではないかと」という不安が強く萎縮している	11	13.6%
看護業務が整理されていないため新規採用者が混乱する	10	12.3%
交代制など不規則な勤務形態による労働負担が大きい	10	12.3%
その他	9	11.1%

3 病棟看護業務のうち、より効率化が必要な領域 n=81



※効率化の優先度が高いものとして上位3項目までに選ばれた割合

▶効率化のために必要な改善策 (複数回答、上位3つ)

書類作成・看護記録 (n=60)		薬剤の管理 (n=35)		書類・伝票の整理 (n=30)	
業務や書式の標準化	51.7%	他職種との業務分担	88.6%	他職種との業務分担	36.7%
ITの活用	25.0%	多様な雇用形態の活用	5.7%	アウトソーシングの活用	30.0%
看護の業務内容の明確化	13.3%	看護業務の明確化	2.9%	業務や書式の標準化	23.3%
		アウトソーシングの活用	2.9%		

まとめ

- 平成25年度の常勤看護職員数は7,843人で離職者は732人(9.3%)、新卒看護職員数は399人で離職者は36人(9.0%)であった。常勤者も新卒者も4年連続で離職率が上昇傾向にある。常勤者の離職理由は、「他の職場への興味」や「自分の健康」、「自分の適性・能力への不安」などそれぞれ理由にばらつきがある。一方、新卒者の離職理由は、「自分の適性・能力への不安」を半数以上の人が占めている。
- 病院側から見た新卒者の早期離職の職場定着を困難にしている要因として「入職時の能力と看護現場で求められる能力とのギャップが大きい」45.7%、「新規採用者の精神的な未熟さや弱さ」38.3%などを挙げていることから、個人に沿った教育体制や職場環境の整備、精神的な支援体制などが引き続き期待される。
- また、現在行っている病棟看護業務のうち、「より効率化が必要な領域」としているのは、「書類作成・看護記録」74.1%と最も多く、次いで「薬剤の管理」「書類・伝票の整理」が挙げられている。改善策として業務や書式の標準化、他職種との業務分担、ITの活用などが上位に挙がっている。

募集中

看護職の資格を生かして、もう一度再就職をしてみませんか

参加費無料

東讃地域で、看護力再開発講習会を実施します。

香川県立白鳥病院 (平成26年11月10日~14日)

①講義:2日間 (9:00~12:20)

- ◎看護の動向・倫理
- ◎医療安全・感染対策
- ◎看護記録・電子カルテ
- ◎看護技術・ナースセンター事業

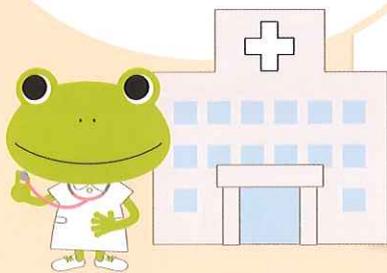
②実習:2~3日間 (9:00~15:00)

- ◎看護ケア、処置検査等病棟・外来での見学・体験
- ◎医療機器等の見学 など

●申込み・問合せ先
 香川県立白鳥病院看護部
 TEL 0879-25-4154
 FAX 0879-25-5410



●申込み・問合せ先
 香川県看護協会ナースセンター
 TEL 087-864-9075
 FAX 087-864-9071
 E-mail k-kango@smile.ocn.ne.jp



香川県看護協会看護研修センター (平成27年1月6日~2月10日) 週2回程度

①講義:5日間 (9:00~12:00、9:00~15:00)

- ◎看護の動向・医療事故防止
- ◎感染管理・新薬の知識
- ◎看護過程・看護技術
- ◎訪問看護

②実習:2日間 (9:00~15:00)

- ◎看護ケア、処置検査等病棟・外来での見学・体験
- ◎医療機器等の見学 など

ナースバンク・サテライト相談のお知らせ

ナースセンター相談員が、あなたの街のハローワークに出向きます。



ハローワーク高松	第1・3月曜日 (祝日は休み)	13:00~16:00
ハローワーク丸亀	第2木曜日 (祝日は休み)	10:00~16:00
ハローワーク観音寺	第4木曜日 (祝日は休み)	10:00~16:00

10月	11月	12月	H27年1月	2月	3月
6・20日	17日	1・15日	5日	2・16日	2・16日
9日	13日	11日	8日	12日	12日
23日	27日	25日	22日	26日	26日

公益社団法人 香川県看護協会 香川県ナースセンター

- 曜日 月~土曜日 (祝日・年末年始除く)
- 時間 9:00~16:00
- 場所 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4
公益社団法人 香川県看護協会
看護研修センター 2階
- 電話 087-864-9075
- FAX 087-864-9071
- E-mail kagawa@nurse-center.net

